

2023年8月号 Vol. 276 令和5年8月1日 発行

Home Page <http://lpa-japan.sakura.ne.jp/>

発行人及び編集人 高田 幸二

本部 及び 事務局 1: 661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町 2丁目 23-32 (高田幸二 方)

携帯 090-8571-6913 TEL&FAX 06-6428-2953

事務局 2 (研究会担当): 581-0002 大阪府八尾市東久宝寺 3-6-9 (末永宏方)

携帯 090-4283-4422 TEL 072-991-1737



浦富海岸 2021.8.10 台風通過後

気象庁より3か月予報が2023年5月23日に発表されました。

高田 幸二

2023年6月～8月の天気の見通し

		平均気温(3か月)	降水量(3か月)
北日本	日本海側	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 30 高 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 30 高 40% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低 20 並 40 高 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 30 高 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 30 高 40% ほぼ平年並の見込み

西日本	日本海側	低 20 並 40 高 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 30 高 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 30 高 40% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み

[3 か月予報(2023 年 05 月 23 日発表)の解説/気象庁 HP より]

北日本、東日本、西日本の 3 か月予報では、気温は平年並みか高い見込みです。
降水量は、ほぼ平年並みの見込みです。

8 月度の研究会はありません

2024年展の課題は「樹木の風景」です。
皆様の力作をお待ちしています。
8月度の研究会はありません。9月度から作品
の審査を始めます。永田先生に来ていただき、
作品の指導していただきます。

9 月度、研究会案内

会場 : 大阪写真会館
月日 : 令和 5 年9月16 日(土)
時間 : 午後 1:30~5:00
住所 : 大阪市中央区南船場 2-7-14
御堂筋線「心斎橋駅」2 番出口よ
り徒歩 7 分
堺筋線「長堀橋駅」2-B 出口
より徒歩 4 分
内容 : 日本大判写真展 2024 京都展
第 1 回出展作品審査(会員)
1 人5点まで提出可。
・ シートフィルム 4'×5', 8'×10
・ デジタル記憶メディア
担当 : 末永 宏
作品の送り先 : 事務局運営委員 末永 宏
〒581-0002 大阪府八尾市東久宝寺
3-6-9
末永 宏 携帯 090-4283-4422

間違えない様に必ずレターパック
でお願いします。データシートも同様。

第1回作品締切: 9月11日(月)
必着のこと。

2023 会員名簿配布

2023 年日本大判写真家教会名簿を配布
します。別紙参照

室戸・安芸方面撮影会報告

室戸・安芸方面撮影会 2023 年 5 月
28 日~30 日 梅雨入りも真近、また大型
の台風が日本列島に接近しそうな予報が
あるなか、二泊三日の撮影旅行に出かけ
ました。

今回もまた立案から実施までが半月程
度と余裕のない日程となり、イメージサー
クル等文書での案内が出来ず、メールアド
レスが把握できている方々のみにご案内
させて頂きました結果、日程の調整がつ
かない方なども何名かおられ、参加者は
三名にとどまりました。

移動手段は当然自動車ということに
なりますが、三人で三台を使用するのは
無駄だと云うことで、一旦大阪から神戸ま
で来て、神戸の車に乗り換えて加古川ま

で走り、加古川の車に三人同乗して目的地を目指すことになりました。ルートは明石海峡大橋を渡り淡路島を縦断、鳴門經由徳島の海岸沿いに室戸岬を目指すコース。途中でウミガメの産卵地に立ち寄り、荒れ気味の打ち寄せる波を撮影。

ここは NHK 連続テレビ小説「ウェルカム」で一躍有名になった美波町の大浜海岸。アカウミガメの産卵地として国の天然記念物にも指定されており、博物館「日和佐うみがめ博物館カレッタ」があります。昼時となったので「道の駅日和佐」へ立ち寄りましたが、人が多く斜め向かいのうどん屋で食べることに。

室戸岬まで 80Km。近そうだけれど 2 時間あまり。点在する岩礁に打ち寄せる波のしぶきはやはり太平洋。

ここぞというポイントで駐車帯に車を止めて撮影開始。豪快な波しぶきを狙うが、なかなか難しい。小型カメラの連写であれば後で選択も出来るけれど、一発勝負ともなれば簡単には撮れません。

飛沫で機材・レンズもちょつと心配。何箇所か場所を移動して撮影をしましたが、さて傑作がゲット出来たか…な？



…と云ったところで阪神タイガースのキャンプ地とか言う安芸市の 11 階立てのホテルへ向かう。今日はここで一泊。翌朝 最上階のレストランで朝食。眼下に広がる太平洋を眺めながら、ふと東南海地震が発生したら…など一瞬頭をよぎる。しかし高知はどこへ行っても NHK の朝ドラ「らんまん」のポスターやのぼり旗が…さすが NHK 今日は伊尾木洞とモネの庭などを予定。





夕方 室戸まで戻り宿泊先の民宿に到着。



例によって先ずはビールで乾杯。話も弾み、地酒の土佐鶴やその他熱燗で。各人いったい何合飲んだだろう…？

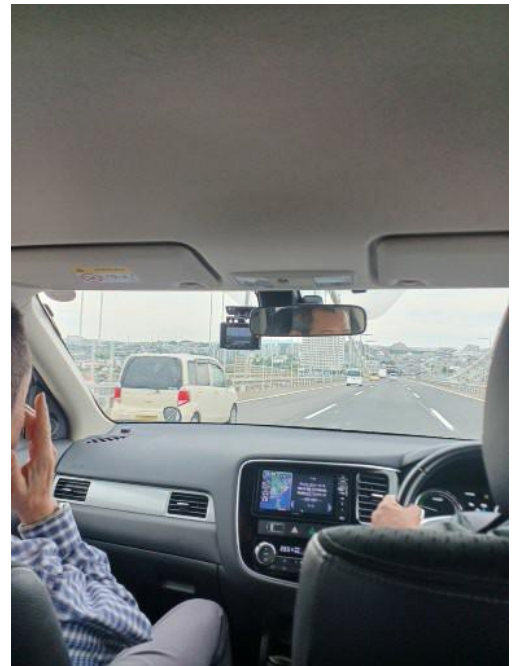


翌朝はついに雨模様となり、一昨日撮影した室戸岬先端付近を少しうろつく。



明石まで 200Km

早々に帰途につく。



明石海峡大橋に到達。

楽しい三日間でした。

(垣内・田中俊・橋本記)